

R7 ホームページ

1 登下校

- (1) 午前8時25分の予鈴までに登校し、着席する。
- (2) 登下校は制服を着用する。
※休日の部活動時や朝練は、学校指定のジャージ・体操服または部活動指定のジャージ・Tシャツで登校する。
- (3) 自転車通学は原則として認めない。(部活動の試合などで必要な場合は、許可を取り、押して登校する)
- (4) 登下校中にコンビニなどで買い物をしたり飲食したりしない。
- (5) 放課後、用事のない生徒は、すぐに下校し帰宅する。
- (6) 登下校時は交通ルールやマナーを守り、できる限り明るく人通りの多い道を通るようにする。事故や事件に巻き込まれた場合は、近くの民家や人に助けを求めること。また、必要に応じて関係機関や学校に連絡すること。
(緊急の場合は110番に通報する)
- (7) バス通学する生徒は、他の乗客への迷惑にならないように乗車マナーを守ること。

2 諸届け・連絡

- (1) 欠席・遅刻の場合は、8時10分までに保護者に連絡してもらう。
- (2) 早退する場合は、担任・養護教諭等の許可を得て、保護者に連絡を入れてもらってから下校し、帰宅後は必ず学校へ連絡をする。
- (3) 遅刻をした生徒は、インターホンを押して学年・組・名前を言い、入校する。その後、職員室に行き、学年の先生に報告して「遅刻者登校連絡票」を受け取ってから教室に入室する。

3 服装

- (1) 制服は気候や体調に応じて選んで着る。
 - ・本校指定のブレザー、長袖ニットシャツ、ズボンまたはスカート
 - ・長袖ニットシャツ、ズボンまたはスカート
 - ・本校指定のブレザー、半袖ニットシャツ、ズボンまたはスカート
 - ・半袖ニットシャツ、ズボンまたはスカート
- (2) 式と行事など全体で揃える時は指定された制服で登校する。
(冬服 4月～5月、11月～3月、夏服 6月～10月)
式：入学式、始業式、離任式、対面式、終業式、修了式、卒業式
行事：修学旅行、校外学習 など
- (3) 名札は、ブレザーかニットシャツの左胸ポケットにつける。
- (4) ニットシャツは、ズボン・スカートの中に入れる。
- (5) ニットシャツの下に肌着を着用すること。無地のもので、色は白・黒・紺・グレーとする。ただし、肌着が見えないように着用し、ハイネックは禁止とする。
- (6) スカートの長さは膝頭がかくれる程度とする。
- (7) ベルトは、装飾のないものとする。色は黒・紺・茶とする。
- (8) 靴下は、無地またはワンポイントのものを着用する。色は白・黒・紺・グレーとする。
- (9) 靴は白色を基調とした運動靴(紐は白色単色)とする。マジックタイプの靴も可。ハイカットシューズは禁止。
- (10) 上履き・体育館シューズは、本校規定のものをはく。

4 防寒着・防寒具

- (1) 寒い場合はベスト、セーター、カーディガンを着用してもよい。（裾や袖がブレザーから出ないようにする。）
ワンポイント・襟元のライン可とし、色は白・黒・紺・グレーとする。
- (2) 登下校時に限り、マフラー・ネックウォーマー・手袋・ニット帽を着用してもよい。
- (3) 寒い場合はひざ掛けを使用してもよい。教室内でのみの使用とし、マントのように羽織らない。
※ひざ掛けは定期的に持ち帰り洗濯すること
- (4) 寒い場合は、タイツやスパッツを着用してもよい。色は黒とする。体育時に靴下を忘れないように持参する。
- (5) 寒い場合はカイロを使用してもよい。

5 頭髪

- (1) 学校生活に支障をきたさない、清潔感のある髪型にすること。また、他の生徒に威圧感を与えるような髪型はしない。
 - 前髪は目にかからないようにする。
 - 後ろ髪は襟にかからない程度、横は耳にかからない程度にする。
 - 肩にかかる長さの場合は、1つか2つにくくる。ゴム・ヘアピンの色は黒・紺・茶とする。
お団子は、1つにまとめて高い位置にしない。
- (2) 整髪料等を付けたり、パーマをかけたり、髪を染めたり脱色したり加工しない。
(手を加えた場合本来の状態に戻す)
- (3) 眉毛は過度に整えない。まつげも加工しない。
- (4) モヒカン、アシンメトリーなどのデザインカットは望ましくない。

*必要に応じて、随時見直しを進めていきます。